

ALL JAPAN REVIVAL MISSION NEWS

全日本リバイバルミッションニュース



「全日本リバイバルミッション」は、「日本にリバイバルを!」という、切なる願いと、熱い祈りと共に、1993年に開催された「全日本リバイバル甲子園ミッション」をきっかけに発足しました。以来私たちは、この事に動んで参りました。

ある宗教学者は、世界各地で発生する宗教運動を類型化すると、「生成→発展→対抗→迫害→円熟→衰退」へと推移すると論じています。そして日本で起こったリバイバル運動も例外ではないと言います。リバイバルミッションの働きも、ある意味、この類型に当てはまる部分もあるような気がします。

リバイバルの秘訣、それは「伝道」です!!

しかしこの働きに長年携わってきた者の一人として、はっきりと言えるのは、働きが始まって20年以上が経過した今も、実行委員を始め、この働きに携わっている者たちは、今もなお、発展途上にあり、円熟も衰退もしていないと言う事です。あの日に灯されたリバイバルへの情熱は、さらに燃えています。

大正と昭和の時代、2度にわたって日本にリバイバルが起こったという記録があります。しかし残念ながら、これも、短い期間で衰退していきました。衰退した原因を調査する時、そこには特殊な時代的背景と、数々の問題があった事も確かです。

しかしながら、それは「確かに神が日本に介入された」という、紛れもない証でもあります。「国立民族学博物館調査報告、キリスト教と文明化の人類学的研究」という論文は、大正時代、長野県飯田市で行われた祈禱

会に聖霊が注がれ、リバイバル運動が拡大した様子を伝えています。その祈禱会は「サタン打ち」と銘打って4日間続けられ、以下のような現象が伴ったと記録しています。

「集会は始めより聖霊の臨在が著しく、サタンの妨害を許さず、聖書は旧約より新約より流るる如く御器を通してはたらし、探らるる者、掘り下げらるる者多く、涙をともに流しつつ悔いす折れて祈り、ひたすら主の前にさびき求むる一つの声となり、俄かに天開かれた如く、聖霊の大傾注となりまして、ハッキリと救われる者、慰められた者、癒しを受けた者など続出、立ち上る者で感謝する人、大ごとに讃美する者、聖霊が降り、会衆は号泣の中に打ち崩れ、恵みの座も講壇も、泣き叫ぶ人々で満たされ、ある者は確実に救われ、ある者はきよめられた。会衆は時間が経っても崩れる者は一人もなく、席を立つ者は外に出て悔改の祈りをしては、また教会に戻ってくる。まさにペンテコステの光景で、ぶっ倒れる者、踊る者、はねる者さへあった。」

さらには「聖霊に満たされて踊り回る状態に、「聖霊踊り」などという、巧みな命名もなされた」と記録しています。これらはまさに、甲子園ミッションを目前にして起こされた事柄に、類似しています。

しかし、このようなリバイバルが起こる準備となったのが、1915年から1917年(大正4年~6年)まで行われた、「全国協同伝道」であったと言われます。この働きは、全国を東西に二分し、それぞれの地域に委員を立て、諸教派総動員の宣教活動として実施されたものでした。

その結果、1910年に全国に585しかなかった教会が、1920年には1,505の教会と、3倍近く増加し、信徒数も毎年4万人以上の増加があり、10年間で2倍以上になったのです。この働きが下地となり、大正、昭和のリバイ

バルへとつながったのです。

このように、全国の教会が一致し、全国規模の「伝道」を展開した事が、後の聖霊のお働きと、さらなるリバイバルへのステップとなった事がわかります。

近年、日本の教会から、「純粋な伝道会」が姿を消したと言われます。それは時代の変化に伴うニーズの変化から、直球タイプの伝道会が、開催しにくくなったためかも知れません。

しかしながら、いつの時代にあっても、リバイバルへの霊的動機は変わらないはずで、さらに大正、昭和のリバイバルは、「再臨待望」への熱い祈りと、海外宣教という視点があり、その波は、日本から世界へと波及していきました。実に、この働きの中核を担った群れにおいては、十年間で1500名から1万名まで、信徒数が増加したと言われます。

その日から、100年近くが経とうとしています。主が帰られる日は、誰もわかりませんが、近づいている事は確実です。私たちは、当時の聖徒たちよりもさらに緊迫した思いで、主の再臨を求め、福音宣教に励まなければなりません。

「全日本リバイバルミッション」は、今年も「宣教と、宣教に伴う霊的戦い」の旗印を高く掲げ、タイ・チェンマイと日本の関西において、伝道会を中心とする、リバイバルミッションを開催します。心を新たに、共に、日本のリバイバルのために立ち上がりましょう! マラナタ。主よ来てください!



全日本リバイバルミッション実行委員
 Jun Takimoto
 滝元 順

お祈りください! タイ・チェンマイリバイバルミッション 開催迫る!

2014年
 タイ
 チェンマイ
 リバイバル
 ミッション
 2014 Feb. 21 Fri - 23 Sun

それから、イエスは彼らにこう言われた。「全世界に出て行き、すべての造られた者に、福音を宣べ伝えなさい。」(マタイの福音書16章13節)

2月21日[金]
 チェンマイ灯教会
 Light Church of Chiang Mai
 9時~12時 / 教職者セミナー
 19時~21時 / 伝道集会

2月22日[土]
 チェンマイ県ホート
 Muang Hod Church
 9時~12時 / 教職者セミナー
 19時~21時 / リバイバル聖会

2月23日[日]
 チェンマイ県メートム
 Mae Tom Church
 礼拝



タイ・チェンマイ・リバイバルミッションのために祈りください。

●大会のために多くの現地の方々が集い
 イエス・キリストを救い主として信じる事ができますように。

- タイ国王
 ラマ9世プミポンアドゥンラジャデート現タイ国王は、タイ王国の元首であり、国民から大きな崇敬を受けています。タイ国民に対して偉大な影響力を持つ、王族の祝福と救いのために祈りましょう。
- 上座仏教
 タイの宗教は、95%が仏教(南方上座部仏教)であり、キリスト教は少数派です。国王も仏教徒であることが憲法で制定されています。また、男性は、一生に一度は出家し、修行僧となることを常としており、それを支える家族も含めて、仏教との関係は強く、福音宣教に困難を来しています。真の救いを与える神のことが、人々に届くよう祈りましょう。
- ビー信仰
 タイでは、仏教とともに土着の風習である「ビー(精霊信仰)」があります。「ビー」とは、自然や生き物、火や土地など森羅万象に宿るとされる霊のことです。「ビー」の機嫌を損ねると病や破壊に遭い、逆に「ビー」にうまく取り入ることで守護霊となると考えられています。家の土地の角や仏教寺院、市場や役所の中にも「ビー」の祠が設けられ、祈りと供え物は絶えることがありません。土着のアニミズム・シャーマニズムから目覚め、真の救い主に人々の心が向けられるように祈りましょう。
- 山地少数民族
 タイは民族的には、タイ族、華僑が大勢を占めますが、モン族・カレン族・ラフ族など多様な少数民族がいます。彼ら

の多くは山地地方に住み、その生活は貧しいです。しかし、クリスチャンの割合も多く、村ごと改宗するなど民族的リバイバルが起きている地域もあります。今回のリバイバルミッションでも二日間はその地方での集会所が予定されています。リバイバルの火が燃える集会所となるように祈りましょう。

●政治的混乱
 2006年9月、当時の内閣であったタクシン政権が、単にクーデターで崩壊して以来、タクシン派と反タクシン派との激しい対立が続いており、首都バンコクでは現インフラック政権(タクシン派)打倒を目指す大規模な反政府デモが頻発し、デモ隊の鎮圧に乗り出した政府との衝突で死傷者が出るなど、緊張が高まっています。タイ王国

の平和と豊やしののために祈りましょう。

●日本とタイ
 日本にとってタイは、民族学的には日本人のルーツを見ることが出来ます。両国の国家としての関係は、14世紀にさかのぼります。また、太平洋戦争の折には同盟国として協力関係を持っていました。2012年の統計では、タイ邦人は5万5千人ほどです。また旅行者も多く、年間120万人と、訪タイ外国人のトップ3に入ります。日系企業は3000社以上進出し、貿易額は730億ドルに達し、日本のトップ10に入る貿易国です。タイにとっては、日本は貿易額、投資額とも第1位となっています。今回のリバイバルミッションでは、両者が福音によって一致し、キリストにあって協力することができるように祈りましょう。

New Year 24 hours R&PH

Praise & Prayer Hour
 2014年新春24時間連続賛美
 レポート

1月2日(木)午後1時~3日(金)午後1時まで、毎年恒例の「新春24時間連続賛美」が行われ、約240名の方々が集いました。今回は、2月の「タイ・チェンマイリバイバルミッション」で中心的な役割を担ってくださっていますDr. ナロントンスク師「タイ・チェンマイ Thammaprotep教会 協力牧師」をお迎えすることができました。ナロントンは「力強い神のしもべ」というタイトルで、大都市チェンマイ市とタイ北部山岳地域の実情を語り、「タイ・チェンマイリバイバルミッション」のための祈りと参加を切実にアピールしてくださいました。また、70人あまりの方々が早朝5時より山頂プレイズに出かけ、街を見ながら賛美し祈ることもできました。全国各地から集ったひとりの心と聖霊の恵みによって、新たな使命を受け取る時となりました。



リバイバル聖書神学校 2014年度 新入学生募集中!

出願締切 ● 2014年3月末日(必着)

日本に、大突破(リバイバル)が来る!

今全教会が、何が本当に霊的になるかを探求しています。神様の日本に対する大突破の計画実現の時が迫っています。あなたが、どこで、何を学ぶかによって、あなたの一生が決まります。リバイバル聖書神学校に来て見て下さい! 聖書を深く掘り下げ、キリストに深く宿り、聖霊を深く飲んで、人格も、奉仕も清い力で満たされましょう。日本国内、海外の宣教の現場で力強く用いられている教師陣、神学生同士の交わりで、あなたは次のレベルに引き上げられます! 新しいあなたを発見するのぞきぐ応募してください。

～リバイバル聖書神学校名誉校長 有賀喜一～

早期出願者に特典!

2014年2月末日(必着)までに入学された方には、**入学金を20%割引いたします。**

- 3年コース 50,000円→40,000円
- 2年コース 30,000円→24,000円
- 1年コース 20,000円→16,000円

*別途、消費税がかかります。

東日本大震災で被災した新入生には特別措置あり 【詳細はお問い合わせください】

無料体験入学実施中!

- ◆毎月行われているリバイバル聖書神学校の授業を受講することができます。
- ◆登録料・授業料無料!滞在費(食費・宿泊費)のみで参加できます。
- ◆年間を通じていつでも、1講義から参加できます。
- ◆無料体験入学をご希望の方は、神学校事務局までお問い合わせください。入学資料と共に無料体験入学券をお送りいたします。
- ◆無料体験入学はお一人様1回限りとさせていただきます。通常の聴講は随時受け付けています。

2・3月スケジュール

2月4日(火) 1～3限:コロサイ書/ピレモン書(平岡修治) 4限:1ペテロ書(有賀喜一) 5限:道狭クラス	3月4日(火) 1～3限:霊的戦いの諸相(滝元順) 4限:使徒の働き(山崎ランサム和彦) 5限:1年生:聖書解釈入門(山崎ランサム和彦) 2,3年生:キリスト教教理史(有賀喜一)
2月5日(水) 1～2限:1ペテロ書(有賀喜一) 3～4限:使徒の働き(山崎ランサム和彦) 20:00～県民の森祈禱会	3月5日(水) 1～2限:使徒の働き(山崎ランサム和彦) 3～4限:ヤコブ書(有賀喜一) 20:00～ 県民の森祈禱会
2月6日(木) 1～3限:モーセ五書(石黒則年) 4限:使徒の働き(山崎ランサム和彦) 5限:1年生:聖書解釈入門(山崎ランサム和彦) 2,3年生:キリスト教教理史(有賀喜一)	3月6日(木) 1限:ヤコブ書(有賀喜一) 2～3限:霊的戦いの諸相(滝元順) 4限:日本神学史(平岡修治)
2月7日(金) 1限:使徒の働き(山崎ランサム和彦) 2～4限:霊的戦いの諸相(滝元順)	3月7日(金) 1～2限:日本神学史(平岡修治) 13:00～第16回卒業式

*講義・講義科目・講義日程等は、変更になる場合があります

リバイバル聖書神学校の特徴の一つに、愛知県新城市のキャンパスで学ぶ教室制と共に、DVDで学ぶ通信制を併設している点が挙げられます。お仕事や家庭の事情で、毎月教室に来ることができなくても、神学校の学びが可能です。今回は通信で学び、卒業後牧師をしておられる瀬尾雅之先生(11期生:イエス・キリスト・リバイバル教会)のお話しを伺います。

リバイバル聖書神学校で学んだこと ●瀬尾雅之先生

私は2006年度11期生として入学し、通信制で学びました。当時を振り返って、主が確かに働いてくださったこと、主の守りと導き、主のご計画の中に置いてくださっていることを体験しています。入学当初は仕事と神学校の学びを両立させるために、いかにして業務調整して学びの時間を作るかということに両心しましたが、結局のところ、どちらを第一として優先させるのかということでした。

神様を優先し、仕事を神様の御支配の中に置き、生きる目的や仕事の目的である、「何をやるにも、ただ神の栄光を現わすためにしない。」(コリント10:31)を実践しようとした時、まさに、「神の国とその義とをまず第一に求めなさい。そうすれば、それに加えて、これらのものはすべて与えられます。」(マタイ6:33)を体験することができました。

毎月送られてくるDVDでの学びは、仕事を終えて帰宅後がほとんどでしたが、繰り返し学ぶ事が出来、効率のよいものでした。しかし、限られた時間の中で常に「自己管理」という大きな課題に取り組み続ける必要がありました。油断をすると、あっという間に次のDVDが届いてしまおうという始末です。そのような時、ある時は教室での聴講による学びの時間が与えられ、講師の先生方や学びを共にする仲間たちとの交わりによって励まされました。

現在、同じくリバイバル聖書神学校卒業生である妻と共に教会牧会と会社経営を主から任せられています。4年前、会社はそれまでに体験したことのない危機を体験しました。神様を第一とするとしながら、会社でオフィシャルな宣言はしていませんでしたが、この時神様は、また一歩前に踏み出す事を示され経営理念に「聖書を礎にする」ということ、毎週の社内礼拝を導いてくださいました。業績は好転し、会社にとって最重要課題である人事・組織も整えてくださり、社員の中に救いが起きています。教会においても会社においても、目に見えない多くの問題に直面するたび、リバイバル聖書神学校での実践の学びを振り返り、神様からの解決を求めています。



DVD講座のご案内
 ※1講義(90分2,000円)からでも受講可能!
 ※登録無料、ご注文合計3,000円以上の場合には、送料無料でお届けします!
 ※便利でお得なDVD講座をぜひご利用ください。

*講義の時間数は変更になる場合があります。
 *DVDによっては、神学生のみへの提供となるものもございます。あらかじめご了承ください。

霊的戦い専門課程 2年目も好評開講中!
 昨年度から継続の方も、今年初めの方も、ぜひご参加ください!
2月度日程 ● 2月17日[月]10:00—18日[火]16:00
費用:全参加13,750円(食費・宿泊費含む)

■お問い合わせ、参加申込みは、神学校事務局まで。
※2月の日程が変更になる可能性があります。ご連絡ください。
 ※霊的戦い専門課程は通常の神学コースとは異なり、教養および教会による推薦を受けた方々を対象として開講しています。
 ※他校として個人的に霊的戦いの学びを希望される方は、神学校の募集あるいはDVD講座の受講をおすすめします。

霊的戦い専門課程3月以降の予定
※日程は変更になる可能性があります。

2014年 3月24日(月)～25日(火)	5月26日(月)～27日(火)	7月28日(月)～29日(火)
4月28日(月)～29日(火)	6月23日(月)～24日(火)	



REVIVAL BIBLICAL SEMINARY **リバイバル聖書神学校**
 ●お問い合わせ資料請求は今すぐ! 神学校事務局まで
 〒441-1307 愛知県新城市富沢407-1 ●Tel.0536-23-6720 Fax.0536-23-6220
 E-mail:semyari@j-revival.com ホームページ http://www.j-revival.com/rbs/

あなたの教会で決起大会を行いますか?
環・関西リバイバルミッション

全日本リバイバルミッション 実行委員の決起大会可能な日程

滝元 明
 2月28日(金)～3月2日(日)
 5月16日(金)～5月18日(日) / 5月23日(金)～5月25日(日)
 6月27日(金)～6月29日(日) / 7月11日(金)～7月13日(日)
 8月1日(金)～8月3日(日) ※その他の日程でも可能な場合があります。

有賀喜一
 3月12日(火)～3月16日(日) / 4月23日(火)～4月27日(日)
 5月20日(火)～5月25日(日) / 6月21日(土)～6月24日(木)

平岡修治
※日程調整中です
 全日本リバイバルミッション事務局までお問い合わせください。

滝元 順
※日程調整中です
 全日本リバイバルミッション事務局までお問い合わせください。

□(リバイバル)聖会・伝道会・霊的戦いセミナー等)集会開催のための諸費用(謝礼・交通費・宿泊等)は全日本リバイバルミッションが全て負担いたします。決起大会当日の席上献金のみで結構です。
 □案内チラシ500枚までは無料にて差し上げます。

2014年8月22日[金]—23日[土]
 あましんアルカイクホール・オクト
 兵庫県尼崎市昭和通2丁目7-1

2014年8月29日[金]—30日[土]
 堺市教育文化センターソフィア・堺ホール
 大阪府堺市中区深井高島町1-428

2014年9月5日[金]—6日[土]
 八尾市文化会館プリズムホール・大ホール
 大阪府八尾市光町1-48

本大会スケジュール

歌おう! 日本の回復を! 叫ぼう! 主への賛美を!
Zawameki 2014 Schedule
ハルカや、主に祈る心歌を歌え! 主への賛美の嵐で主への賛美を、(詩篇149:1)

2,7fri 18:30～
 Zawameki Worship Shout
 東京Vol.121
 会場:お茶の水クリスチャンセンター
 アリーナ・ホール
 東京都千代田区神田湯島町2-1

3,8sat 11:00
 Zawameki東北ツアー2014

3,8sat
 仮設住宅コンサート
3,9sun 18:00～ Z.C.Lat
 西多賀聖書バプテスト教会
 宮城県仙台市太白区南台1-10

3,10mon
 仮設住宅コンサート

3,11tus 14:00～
3,11 Praise & Worship
東北賛美と祈りの集会
 @シーサイドリバイバルチャーチ
 仙台市宮城野区(東山) TEL:2112-14

2,28fri 19:00～
 Z.C.Lat
 松阪ルーテル教会
 三重県松阪市東町1131
 Tel.0598-21-2582

3,15sat 14:30～
 Zawameki Worship Shout
 東京Vol.122
 会場:南麻布セントラルホール
 東京都港区南麻布4-12-25 南麻布セントラル

●開催費用は席上献金と交通費のみで開催できます。(ご相談に応じます)
 ●プログラムは賛美&パワートークで約2時間の賛美集会です。まずは、お気軽にお電話にてご相談ください。

お問い合わせ: Zawameki事務局

この夏、関西にリバイバルの炎が駆け巡る!

会計報告 2013年12月度

収入	支出
前月繰越金 1,230,804	
二階聖堂 3,585,233	事務所運営費 779,615
	一般行政費 152,463
	庶務費 349,681
	印刷費 283,293
	雑費 36,332
	個人(返済/手取) 21,828
収入合計 3,585,233	支出合計 1,806,522
	次月繰越金 3,009,915
前月ののり繰越金 321,857	
ご寄付お金(奉還)収入一式 470,645	2次月繰越金 608,573
	1次月繰越金 175,149

※収入総額 ¥1,267,834(2014年6月現在)

いつも全日本リバイバルミッションのた
 めにご支援くださり感謝いたします。
 いよいよタイ・チェンマイでの本大会も目
 前に迫りました。12月はタイ・ミッションのため
 の献金やクリスマス献金など多くの献げもの
 があふれます。しかし1月からは実務的な
 準備や本大会の経費も高くなります。また、
 夏の関西での大会のため、様々な費用が必要
 になってきます。是非皆とともに、ご支援の
 継続をお願いいたします。

ALL JAPAN REVIVAL MISSION
全日本リバイバルミッション ☎0120-291-372

〒441-1307 愛知県新城市富沢407-1
 Tel.0536-23-6712 Fax.0536-23-6220
 http://www.j-revival.com office@j-revival.com

※次回3月号は2月23日(日)発行予定です。